きほく川柳会

今以上望むと神にしかられる　都　瞳
湯どうふに決めよう外は猛吹雪　宮脇マサヱ
初雪が庭で長居をして困る　宮本ヨリヲ
猪が道まで作り畑荒す　山本　益恵
ドライブにあの子と一緒夢の中　大西　広洋
おやじさん夢の中でも酒を飲み　那須　栄山
木守柿一つ残して思いやり　松本　実
バスに乗り遠くに見えたミカン山　川西　生子
買い物のおつり駄賃と子に取られ　芝　幸子
知名度もない一芸の馬の足　土居　恒三
血と汗は秘め美しい千枚田　村上よしこ
寡婦からの誘いで足が地につかず　渡辺　光男
いじわるい進む方から向かい風　宇都宮七郎
死後残るもので評価に甘んじる　宇都宮　孝
恥幾つかいても勇気を盛り上げる　大沢和希子
妥協案結果はうまい酒になり　大野モモヱ

鬼北句会

緋の袴春立つ神の庭を掃く　上甲　正志
甲高き登校の声春隣　上甲　武英
冬日向集金人の去なざりし　松本　久江
風の戸を締めることなし寒の月　滝本　明
高僧の〝和の輪〟説かれて暖かし　今西　英子
百千のけものの寝息冬銀河　武田　幸子
栗畑に渦風の舞ひ寒土用　二宮千代子
助手席に猟犬乗せる漢かな　二宮　友子
寒月を見上げてをりぬ無為徒食　高田トヨ子
寒行の僧の身震い貰いける　松岡　寛孝
石あれば石に休んで春野行く　芝　都留
寒稽古気迫みなぎる面一打　新倉地映子
山仕事終えて満足日脚伸ぶ　芝　光恭
万骨をさらす裸の大銀杏　白敷フサ子
寒泳を見守る母の襟立てて　上甲　斗志

大きくなったら　愛治小学校